

# 「多職種で共有したい アナフィラキシー の初期対応」学習会開催

甲府共立病院では昨年、「多職種で学びたいアナフィラキシーの初期対応」を職員向け学習会として開催しました。医師・看護職以外の職員向けに、一般的な診断基準、初期症状、初期対応について、小児科医の協力も受けながら医療安全管理委員会委員長医師が講師で実施しました。病院窓口では、事務職だけの時間帯が存在したり、放射線室での造影剤によるアナフィラキシーの発症を経験することがあります。初期症状や、そのことが起こりうることを知ることで、「早期に報告・対応が可能となる、チーム医療活動への実践に繋がる」と多くの職種から感想が寄せられました。お知らせの時点で食物アレルギー患者の受診案内でのインシデントが発生しており、職員の関心度も高く、複数の職場から多数の職員参加があり、また満足度の高い学習会となりました。

お問い合わせ  
甲府共立病院 GRM 和知

